

自治会報 さがみはら

No.77 令和2年(2020)11月発行
発行部数 18万部

発行責任者 相模原市自治会連合会 会長 坂本 堯則

題字 相模原市長 本村賢太郎

事務局 〒252-0236 相模原市中央区富士見6-6-23 けやき会館内 相模原市自治会連合会 TEL.042-753-3419

つくりだそう自治の力で明るいまちを

相模原市自治会連合会の現況

地区自治会連合会数 22
自治会数 589
加入世帯数 168,654
班(組)数 11,242

R 2.4.1 現在

ホームページ
<https://www.sagamihara-jichiren.jp/>

相模原市自治会連合会 検索



坂本会長・本村市長からのあいさつ



左:坂本会長 右:本村市長

相模原市長 本村賢太郎

自治会員の皆さまにおかれましては、日ごろから、市政の様々な分野において、ご理解、ご協力を賜るとともに、令和元年東日本台風災害義援金、新型コロナウイルス感染症に関する医療従事者等の方々への寄附などの多くのご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、今年度は、自治会大会や地区のふるさとまつり等の行事が中止となる一方、新しい生活様式を実践しながら自治会活動の継続に取り組み、住みよいまちづくりに多大なるご貢献をされておりますことに深く敬意を表するとともに心より感謝申し上げます。

市長就任以来、これまで市民の皆さまと直接向き合い、対話を重ねてきた中で、市民の皆さまの力こそが本市の最大の財産であると、より強く実感したところであります。

本市では、「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」を掲げた国際社会の共通目標であるSDGsの理念を踏まえ、まちづくりを行うため、相模原市総合計画や各種計画へのSDGsの反映や、積極的な普及啓発等に取り組んできたところです。このような取組等が評価され、7月に「SDGs未来都市」に選定をされました。

新型コロナウイルス感染症につきましては、引き続き、新しい生活様式をはじめとした感染防止に向けた対策を進めるとともに、全ての市民の皆さまが安全で安心して心豊かに暮らせる、持続可能な社会の実現に向けて、取り組んで参りますので、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

相模原市自治会連合会 会長 坂本 堯則

自治会役員及び会員の皆さまには日ごろから、自治会活動へのご参加・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

自治会長の皆さま方には会員に自治会活動への積極的な参加を促すなど、地域のまとめ役としてご尽力を頂いており、改めて敬意を表するとともに心より感謝申し上げます。

さて、全国的な課題となっている自治会加入率の低下につきましては、本市においても例外ではなく、年々減少傾向にあり、若い世代の自治会離れや高齢者の退会者増加、役員の担い手不足等自治会の事業を進めていくこと自体が難しくなってきたという問題も抱えております。

自治会の活性化と加入促進に向けた取り組みとして、平成25年度に市自治会連合会と相模原市との「連携基本協定」や相模原市・不動産関係団体との「相模原市における自治会への加入促進に関する協定」を締結するとともに、市民桜まつりや市役所本庁舎等に加入促進キャンペーンを行っております。また、スマートフォンに対応した市自治会連合会のホームページや、自治会員専用割引(Jichi Pass)に新たに日帰り温泉施設・整骨院を追加するなど、施設利用等の充実にも取り組んでおります。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自治会大会やふるさとまつり等の自治会活動が中止となってしまい、本来の自治会活動が思うようにできない中、感染症対策として独自で加入世帯への消毒液やマスクの配布を行っている自治会もあります。今後は自治会としても、新しい生活様式に対応した取り組みが必要になると感じております。

本市が7月に「SDGs未来都市」に選定されたことにより、引き続きSDGsの推進及び会員の生活と環境を守る活動に取り組むとともに、「相模原に住んでみたい」「相模原に住んで良かった」「相模原に住みつきたい」と思われる心豊かで安全・安心なまちづくりを進めてまいります。自治会長をはじめとした自治会役員及び会員の皆さまにおかれましても、今後とも自治会活動、地域活動にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

| | | | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| <p>監事 宮野善三郎 藤野地区(緑)</p> | <p>監事 穂刈 健二 新磯地区(南)</p> | <p>会計 田代 明寛 清新地区(中央)</p> | <p>副会長 安藤 和実 橋本地区(緑)</p> | <p>副会長 森 逸雄 大野中地区(南)</p> | <p>副会長 竹田 幹夫 星が丘地区(中央)</p> | <p>会長 坂本 堯則 相模台地区(南)</p> |
| <p>理事 佐藤 金男 大沢地区(緑)</p> | <p>理事 大木 恵 大野南地区(南)</p> | <p>理事 山口 信郎 大野北地区(中央)</p> | <p>理事 割柏 秀規 光が丘地区(中央)</p> | <p>理事 牛尾 良一 中央地区(中央)</p> | <p>理事 吉田 貴亮 横山地区(中央)</p> | <p>理事 安藤 孝洋 小山地区(中央)</p> |
| <p>理事 長谷川 晃 相模湖地区(緑)</p> | <p>理事 熊谷 弘 津久井地区(緑)</p> | <p>理事 大参 正人 城山地区(緑)</p> | <p>理事 古木 昇 東林地区(南)</p> | <p>理事 瀬尾 守一 相武台地区(南)</p> | <p>理事 中島 勝平 麻溝地区(南)</p> | <p>理事 小林 充明 上溝地区(中央)</p> |
| | | | | | | <p>理事 志村 勝美 田名地区(中央)</p> |

私達が、令和2年度相模原市自治会連合会役員・理事です。各地区の自治会連合会から選出されました。

新磯

新磯商盛会

新磯商盛会の歴史は、相模原市の中でも古く、昭和12年ごろ地区内数軒の商店で寄り合いをしながら始まったと聞いております。昭和49年に、地区内で事業を営む「商業・工業・サービス業」など、様々な事業主によって構成されました。現在の会員数は27軒。主な事業としては、会員の経済的活動を促進し、会員相互の親睦を図り、会の繁栄のため必要な事業を行っています。



具体的な活動としては、地区賀詞交換会、役員研修会、会員家族研修旅行、食協部による店舗検査等。

また自治会をはじめ、各種団体の事業やイベント等への積極的な参加。その他、防犯の面でも多数の商盛会員が各地域の消防団員として活動してまいりました。

今後も地域と密着した活動をしていきたいと思っております。

城山

町屋自治会

今年は新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限されており、年間計画にある事業も次々と中止せざるを得ない状況にあります。一日も早く元の平和な生活が戻ってくることを望むばかりです。

さて、町屋自治会の重点活動として進めてきた法人化は、自治会員の協力をいただき、本年7月10日に相模原市から認可をいただき、法人格を取得いたしました。

今後は自治会への加入促進、いざという時に備えた防災訓練、災害時要援護者に対する支援システムの運用等を進めていきたいと考えています。

町屋自治会は「向こう三軒両隣」の気持ちを持って、災害に強い安全安心な地域を目指し活動を続けてまいります。



相模湖

底沢自治会 ～宅地造成から建物完成まで～

令和元年東日本台風(台風19号)により、沢と道路を挟んだ目の前の山が崩れ、Aさんは全壊した家の土砂の中で低体温症になっているところ、幸いにも救助隊に救出されました。その後、底沢自治会の役員会で「Aさんの家をどうかしなくては」ということになり、沢の下流にあるAさんの荒れ地の畑に住宅を建てようということになりました。しかし、そこは篠竹が覆い繁った傾斜地で、宅地造成するにも大変な作業を要する状況でした。当分の間、道路の復旧は見込めず、家の建て替えも見通しが立たない中、役員達の強い結束力と行動力により実行されていきました。しかし、家を作るには農地転用が必要だったためすぐに工事に着手できず、令和元年12月に許可があり、着手することができました。

役員の中にイギリス生まれの芸術家で、建築に明るく重機を扱える方がおり、全面的に大きな力を発揮していただいたことが完成までの大きな要因でした。

土留めの石垣や建築確認申請は、ほとんどを業者の方がボランティアで活動してくださいました。

パワーショベルによる造成から始まった手作りの家は、皆の協力のもと令和2年3月に内装工事が終わり、Aさんは引っ越すことができました。

底沢自治会は、普段から皆が協力し、助け合って運営している自治会で、防災訓練も避難困難地域として独自に訓練を行い、夏の僧房まつりや道路の草刈りも皆で機械を持ち寄って行うような土壌が、今回のすばらしい活動に繋がりました。



人物紹介

津久井地区の津久井商工会青年部で活躍をされている前部長：網野通さんと現部長：山本篤司さんにお話を伺いました。



網野 通さん



山本篤司さん

Q ご出身は？

相模原市緑区です。(網野)
相模原市緑区中野です。(山本)

Q 津久井商工会青年部での活動内容を教えてください。

津久井商工会青年部の特徴は、「津久井の元気はおれらから」のスローガンのもと、「地域振興発展事業」と「部員成長事業」を主として活動しております。(山本)

Q 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために行った活動内容を教えてください。

「みんなの手に消毒液を」と銘打ち、次亜塩素酸水を過疎地にお住いの方々に無料配布しました。消毒液が慢性的に不足している中、市が行っている次亜塩素酸水の無料配布を取りに行けない遠方にお住いの方や車を運転しない高齢者の方々に消毒水を配布したいという思いで、どなたでも受け



次亜塩素酸水無料配布

取りやすい日曜日(5/31)に、鳥屋、青野原、青根地域の総合事務所出張所にて無料配布しました。当日は各所で配布時間前から行列ができ、約300名の方に消毒液を配布することができました。ソーシャルディスタンスを考慮したり、部員の感染防止対策を行ったりと、慌ただしくなりましたが、市民の方々から直接感謝されたことが一番の労いとなりました。(山本)

Q 令和元年東日本台風(台風19号)で行った活動を教えてください。

令和元年東日本台風(台風19号)では、津久井商工会館が所在する中野商店街も山からの土石流がバス通りに流れ込み、車の通行が困難な状況でした。水道設備会社を営む部員から重機を提供してもらい、土砂の掻き出し作業を進めていきました。商店街の掻き出し作業後は甚大な被害を受けた青野原地区で作業を行いました。仲間が仲間を呼び、皆が自分たちの仕事を顧みず一丸となって作業にあたりました。

しかし、数日経過しても土砂との闘いで、地域によっては水道や電気のライフラインが寸断され、

床上浸水、家屋への土砂の流入など被害箇所が多数ありました。早急な復旧を求め、青年団体がボランティアセンターの早期設置を行政へ依頼し、社会福祉協議会と調整後、津久井・相模湖・藤野の3地区にボランティアセンターが設置されました。設置には日本各所で起きた災害に対し日頃よりボランティア活動を行っている青年会議所の知識が大きな力となりました。

私たちは現場作業と併せてボランティアセンターの運営スタッフとして、人・物資の輸送・ニーズ調査・マッチングなど、様々な作業を約3か月間に亘り行いました。運営に当たっては、初動から相模原市内の各青年団体の多大な協力を頂き、重機や車両の無償提供の他、地元の飲食店や県内外のケータリング協会のご協力による炊き出し、中央区や南区からも毎日運営スタッフとして足を運んで頂いた同志もおります。

今回の災害活動を通じ、私たち



土砂のかき出し作業

青年団体が微力ながら地域の皆様のお役に立てたこと、そして、貴重な経験を積ませて頂きました。(網野)

Q 活動を行う上で大事にしていることは何ですか？

令和2年4月から部長に就任した私は、部員に対して「意義や目的がはっきりした事業を構築してほしい」と伝えています。商工会青年部は決まりごとが少なく自由に事業を行えることが良い点でもあり、油断すれば悪い点にもなり得ます。今回の次亜塩素酸水の配布や、同月に開催した「花さくプロジェクト」(津久井地域6,000世帯へけいとうの種を配布)は各委員長が僕の想いに共感し構築してくれた地域のためになる素晴らしい事業だったと思っています。(山本)

Q 本職と活動を行う上で学んだことはありましたか？

地域の活性化の一助となる為、青年部活動と仕事の両立をして参りました。時間を作り出す努力も青年部活動を通じて学んだことだと思います。(網野)

Q 津久井地域を今後どのように活性化していきたいですか？

青年の創造力と行動力をいかし、いま地域に求められていることをいまやるのが大事だと思います。(山本)

地域トピックス [中央]

「地域をつなぐ音楽会」や「学び」文化の魅力あふれる中央地区

中央地区自治会連合会 会長 牛尾 良一

●「もみの木コンサート」

中央地区内全ての小・中・高校、さらに多くの地域団体が集う音楽会を開催しており、来年度には、20回の節目を迎えます。毎年1,300人を超える参加者で盛り上がる年末の一大イベントに発展しています。音楽を通して、地域の結びつきや絆を深める中央地区ならではの「音楽文化」となっています。



もみの木コンサート

●「子どもと大人 共に学ぶ宇宙教室」

中央地区には、『はやぶさ』など日本の宇宙開発拠点のJAXA相模原やプラネタリウムを有する博物館があり、子ども達や市民が宇宙を学ぶには非常に恵まれた環境にあります。この恵まれた環境を生かして、「夢と未来を」宇宙を通して学ぶ教室を開催し、昨年度5年の節目を迎えました。年5～6回の教室開催で、参加者はこの5年間で延べ1,800人を超え、JAXAの先生方の分かりやすいお話から、映像や実験・工作を組み込んだ講座は人気を博しています。



子どもと大人 共に学ぶ宇宙教室

“JAXAのある街 中央地区”ならではの“学びの文化”となっています。12月の「はやぶさ2」の帰還を、地域の皆が心待ちにしています。

地域トピックス [城山]

大学生との交流を通じて

城山地区自治会連合会 会長 大参 正人

平成15年、法政大学現代福祉学部のゼミのフィールドワークとして、谷ヶ原自治会館での高齢者サロンに参加していただいたのが城山地区での活動の始まりと聞いています。

その後、平成25年、法政大学多摩キャンパスに「多摩地域交流センター」が開設され、このセンターのコーディネートのもと、城山地区内の様々な場所で大学生との交流が活発に行われるようになりました。

高齢者サロンをはじめ、空いている農地での農業体験や地域の伝統行事である祭りへの参加、また、地域の課題解決に向けた取り組みへの参画等積極的に活動していただいています。

自治会員の高齢化や担い手の減少、自治会活動のマンネリ化等課題が山積する中、大学生の違った視点からの活動は、自治会に活力を与え、頼もしい力となっています。

現在コロナ禍で大学生はオンライン授業、自治会活動も中止等で交流の場を設けることは難しい状況ですが、今後もこの交流が継続して行われることを願っています。



サンタ de コンサート



夏の収穫祭

地域トピックス [麻溝]

県道52号の4車線化が進んでいます！

麻溝地区自治会連合会 会長 中島 勝平

麻溝地区は、豊かな自然と歴史を感じる地域ですが、平成25年の圏央道相模原愛川インターチェンジの供用開始と、それに続くアクセス道路である県道52号の4車線化により大きく変わろうとしています。

県道52号の4車線化工事については、JR相模線との交差部が先行着手区間となっており、4車線の道路をアンダーパスで鉄道と立体交差させる市内初の大規模な工事で、副道を含む幅員は44mに達します。今年度から迂回道路の工事が始まり、概ね10年後の完成が見込まれます。

本市の主要幹線道路である県道52号ですが、地域住民にとっては大切な生活道路です。4車線化と立体交差による通学路やまちづくり等への影響を心配する声も少なくないため、市と地域がいつでも話し合える場として、まちづくり会議に「道路交通部会」を設置しています。

また、地域が大きく変わろうとしている今は、地域の良さを改めて確認し、将来のまちづくりを考える大切なときでもあります。地域全体で情報を共有しながら、麻溝を次世代へと繋いでいきたいと思えます。



JR相模線立体交差部、完成イメージ (相模原市ホームページより)



現在の県道52号 (JR相模線付近)

地域トピックス [小山]

地域住民・諸団体との連携で安全で安心なまちづくりを目指す

小山地区自治会連合会 会長 安藤 孝洋

コロナ禍で、人同士・諸団体の集いに制約があり、意思疎通を図る上で苦慮しています。「住民が集い、にぎわいの場」となる各自治会の夏まつり、地区ふるさとまつりも中止となりました。この状況の中、地域住民・諸団体との連携推進は大変重要であると改めて認識しています。

地域では「出来る事から活動を」と、交通安全・防災・防犯への呼びかけをしています。生活の変化で家庭にいる時間が増え、ごみの量が増加した為、向陽子ども会がごみ収集に携わる方々へ日ごろの感謝の意を込めポスターを作成し、ごみ・資源集積場所に掲示しました。微笑ましい光景です。

また、「支え合い・助け合い」とし、登下校時の児童や地区内高齢者への見守りも重要な活動として継続中です。

相模総合補給廠の共同使用区域では、中央部分の芝生広場及び遊具広場が「相模原スポーツ・レクリエーションパーク」として、11月に供用開始予定です。一部返還地の整備計画に関し、「ライフ×イノベーションシティ」と称したコンセプトが発表され、今後の動向に対し、隣接する地区として意見等を発信していきます。



感謝の意を込めたポスター



登下校時の見守り活動

ご案内とお願い

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせ

相模原市自治会連合会事務局 ☎ 042-753-3419 E-mail:info@sagamihara-jichiren.jp

自治会報さがみはら編集 広報部会員

- 竹田 幹夫 (星が丘) 長谷川 兌 (相模湖) 安藤 孝洋 (小山) 山口 信郎 (大野北) 志村 勝美 (田名) 大木 恵 (大野南) 小島 盛生 (城山)
長田 米二 (藤野) 大久保秀子 (横山) 田坂 正子 (中央) 小形 正雄 (上溝) 柿沢 弘美 (麻溝) 篠塚実希子 (相模台)